**啓林館　高等学校 理数探究基礎 （理数701）　観点一覧**

[内容の取扱い]

* 冒頭に大隅教授の研究成果を紹介し，探究の全体像を説明している。また，探究の意義や探究に向かう姿勢についても詳細に解説している。
* 探究の課題の設定方法については特に丁寧に記載し，スムーズに探究活動に取り組めるように工夫されている。
* 手軽に取り組める「やってみよう」や「考えよう」が適切に配置されており，理数探究の基礎的な概念についての理解を深めることができる。
* ワークシートの記入例を掲載することで，ワークシートの記入方法が分かるとともに，探究の流れが一目でわかる。
* 第2章では「先生からのアドバイス」で，実際の論文では知ることのできない， 指導者からのアドバイスを掲載し，探究の着眼点を養うことができるよう工夫されている。
* コラムとして実際の高校生の探究活動が社会に役立っている事例を紹介することで，探究への意欲を引き出すことができるよう工夫されている。

[構成・分量]

* 第1章では探究の流れとそれぞれのステップの詳細を丁寧に解説している。授業で取り扱う内容を第1章にまとめることで，学習の範囲が明確になり，第2章・第3章は適宜参照するという使い方ができるよう工夫されている。
* 第2章では実際の高校生が行った探究の事例を，探究のステップに沿って紹介することにより，探究の一連の進め方や考え方を実例から学ぶことができる。
* 第3章では自然や社会の身近な事象への興味や疑問のうち，探究の課題として設定可能なものを多数紹介している。各課題例には，扱う内容を把握しやすいように分野名を示している。
* 研究倫理については第1章第5節で詳細に取り扱うとともに，探究の課題設定を説明した第1章第2節にも記述があるため，指導者が都合の良いところで説明できるよう工夫されている。

[表記・表現および指導上の便宜]

* 図・写真やキャラクターなどを活用して，探究に不慣れな生徒であっても，意欲をもって学習することができるよう配慮されている。
* 各部の学習内容は章・節・大項目・小項目等の見出しで区切って明瞭に示され，効果的な学習が進められるように配慮されている。
* 重要語は太字で強調し，学習のまとめは「ポイント」として目立つように配置することで，効率のよい学習ができるように配慮されている。

[その他]

* 一般的な論文や探究ノートと同じ大きさのA4判の教科書である。
* 書きこんで使うことができる，白紙のワークシートを掲載している。
* 探究の全体像を実際に体験させることができるよう，「やってみよう」に経験曲線に関する簡単な探究課題例を，記入できるワークシートとともに掲載している。